

## 公益社団法人日本動物学会 令和七年度中部支部大会(静岡大会)開催報告

令和七年度日本動物学会中部支部大会を、令和7年12月6日から7日にかけて、静岡大学静岡キャンパス理学部にて開催いたしました。本年の大会は、対面での参加を中心とし、高校生の口頭発表のみをオンラインと対面両方としました。大学生・大学院生の部門では22題の口頭発表、16題のポスター発表、高校生・高専生の部門では8題の口頭発表(6題のオンライン発表含む)、29題のポスター発表、一般の部門では2題の口頭発表、5題のポスター発表が行われました。参加者は、現地会場が233名、オンラインが30名となりました。

発表に関しては、大学院生・大学生および高校生・高専生を対象にそれぞれの発表内容に関し中部支部役員の先生方、シンポジウム招待講演者に評価をしていただき、口頭発表とポスター発表から最優秀発表賞と優秀発表賞を選考いたしました。結果として、大学生・大学院生の部門では、口頭発表から最優秀賞2件、優秀賞3件が決定し、ポスター発表からは、最優秀賞1件と優秀賞1件が決まりました。高校生・高専生の部門では、口頭発表より最優秀賞が1件、優秀賞が1件、ポスター発表から最優秀賞1件と優秀賞4件が決まりました。また、今年度は高校生・高専生の部門では、その他の発表についてもこれまでの研究と学会において発表する努力を讃えて発表賞として表彰しました。

公開シンポジウムとしては「生殖細胞形成の仕組み-魚類の研究から解ったこと」と題し、3名の先生方にご講演をいただきました。小林 亨先生(静岡県立大学)には、「内分泌かく乱研究から見た性成熟のメカニズム」について特に最近明らかになった甲状腺ホルモンの両性の生殖腺への作用に焦点を当てたお話をいただきました。今井 裕紀子先生(埼玉大学)には、「ゼブラフィッシュから探る減数分裂期の組換え」と題し、雌雄で異なる組換えの染色体上の位置の可視化に関する最新の結果についてのお話をいただきました。駿河谷 諒平先生(北海道大学)には、「排卵能とは何か?—チョウザメ類の排卵機構解明に向けた研究から—」と題し、卵成熟、排卵が長時間掛けてゆっくりと進行するチョウザメという研究材料の特徴を活かして、特に排卵に関わる鍵遺伝子の探索に関するお話をいただきました。生命の原点とも称される生殖細胞の研究における尽きることの無い課題に挑戦する研究が今後も継続し、発展することを期待します。

今年度は事前予告をして一般参加者も参加できる懇親会を6日の夜に企画しました。当日参加や高校生の参加者も含め、約90名の参加者が親睦を深め大いに盛り上がりました。

静岡地区におきましては静岡大学、静岡県立大学に多くの動物学会員がいるため 14 名という実行委員会を組織できました。また、協賛金も得られ学生のアルバイトも配置できたためスムーズな進行が可能でした。それでも予想外の多くの参加者となったため実行委員の各先生方の献身的な活躍が無ければ円滑な進行はなかったと思います。実行委員の先生方にはこの場をお借りして感謝申し上げます。また、この人数にも関わらず静岡大学理学部名誉教授の竹内先生には当日の zoom 接続等で大変お世話になりました。誠に感謝申し上げます。来年度の中部支部大会は金沢大学(石川県金沢市)にて開催される予定です。来年度も多くの方に中部支部大会でお会いできることを楽しみにしております。

2025 年 12 月 11 日

大会実行委員長 徳元 俊伸

## 各賞表彰

### 大学院生・大学生部門

#### 最優秀口頭発表賞 (2 件)

O-18

サカサクラゲポリプ切断体からの再生機構の解明

○醍醐 陽介 1, 小池 亨 2

1 静岡大学・総合科学技術研究科, 2 静岡大学学術院・グローバル共創科学領域

O-20

ミナミメダカの雄の繁殖行動を制御する脳内バソトシンの発現動態

○若園 彩花 1, 加川 尚 2, 古屋 康則 3

1 岐阜大学・連農, 2 近畿大学・理工, 3 岐阜大学・教育

#### 最優秀ポスター発表賞 (1 件)

P-15

地理的単為生殖昆虫・オオシロカゲロウの両性・単為生殖系統間での発現遺伝子の比較解析から探る単為生殖関連遺伝子

○野堀 貴仁 1, 竹中 將起 2, 東城 幸治 3

1 信州大院・理, 2 筑波大・生命環境, 3 信州大・理

#### 優秀口頭発表賞 (3 件)

O-12

陸上産卵性両生類アイフィンガーガエル胚のアンモニア解毒能の早期獲得

○中山 聡 1, 中町 智哉 2, 松田 恒平 2, 今野 紀文 2

1 富山大・院理工・地球生命, 2 富山大・学術研究・理学系

O-16

コクワガタにおける性決定遺伝子 doublesex の卵巣発生と卵吸収への機能

○山内 花音 1, 千頭 廉彦 2, 後藤 寛貴 2

1 静岡大学・院総科技・理, 2 静岡大学・理・生物科学

O-19

淡水進出時期の異なるイトヨ集団における浸透圧調節能の比較

○阿部 滉大 1, 神部 飛雄 2, 鈴木 義己 1, 森 誠一 3, 日下部 誠 4

1 静岡大学・理・生物科学, 2 国立遺伝学研究所, 3 岐阜協立大学, 4 静岡大学・理・創理

優秀ポスター発表賞 (1 件)

P-8

ネバダオオシロアリの兵隊型生殖虫における遺伝子発現プロファイル解析

○水上 葉 1, 藤原 克斗 2, 前川 清人 3

1 富山大学・理・生物, 2 産総研・BPRC, 3 富山大学・学術・理

高校生・高専生部門

最優秀口頭発表賞 (1 件)

O-25

静岡県内で提唱されるトウヨシノボリ“池沼型”の分類

○山村 悌公

静岡理工科大学静岡北高等学校

最優秀ポスター発表賞 (1 件)

P-25

鳴き声から読み解くコジュケイのコミュニケーション

○水谷 架土羽, 丹羽 悠

浜松学芸中学校・高等学校

優秀口頭発表賞 (1 件)

O-26

温暖化による駿河湾の深海生物への影響調査

○藤江 優光, 吉澤 勇希, (教) 大津 孝佳

沼津高専

優秀ポスター発表賞（4件）

P-23

シーラカンスの環境に適応した進化と温暖化による駿河湾での生息の可能性

○森 莉緒菜 1, ○鷺見 陽向 2, ○中野 颯紀 3, (教)大津 孝佳 4

1 島田市立島田第二中, 2 中津川市立坂本小, 3 富士市立富士中, 4 沼津高専

P-26

環境 DNA を用いた能登地域の河川の魚類相の調査（3）～学校間ネットワークによる石川県全域への調査の拡大～

○干場 真歩, 和田 浩輝, 田口 一生, 酒本 一輝, 干場 智貴, 関軒 康太郎, 中村 陸人, 駒井 結翔, 谷口 豪紀, 林 真衣, 久田 唯心  
七尾高等学校

P-28

トンボの翅から考える生物多様性評価

○山本 菜帆, 水谷 架士羽, 大森 奏, 阿知波 ハル, 丸尾 泰雅, 山内 希一, 黒田 立輝  
浜松学芸中学校・高等学校

P-31

オオグソクムシの行動特性を活かした新たな立体展示方法の提案

○中島 樹, ○滝 優真, ○渡部 結衣, ○佐藤 優月, ○廣田 絢音, ○佐野 綾香, ○佐藤 千馬, 眞野 水綺, (教)大津 孝佳  
沼津高専